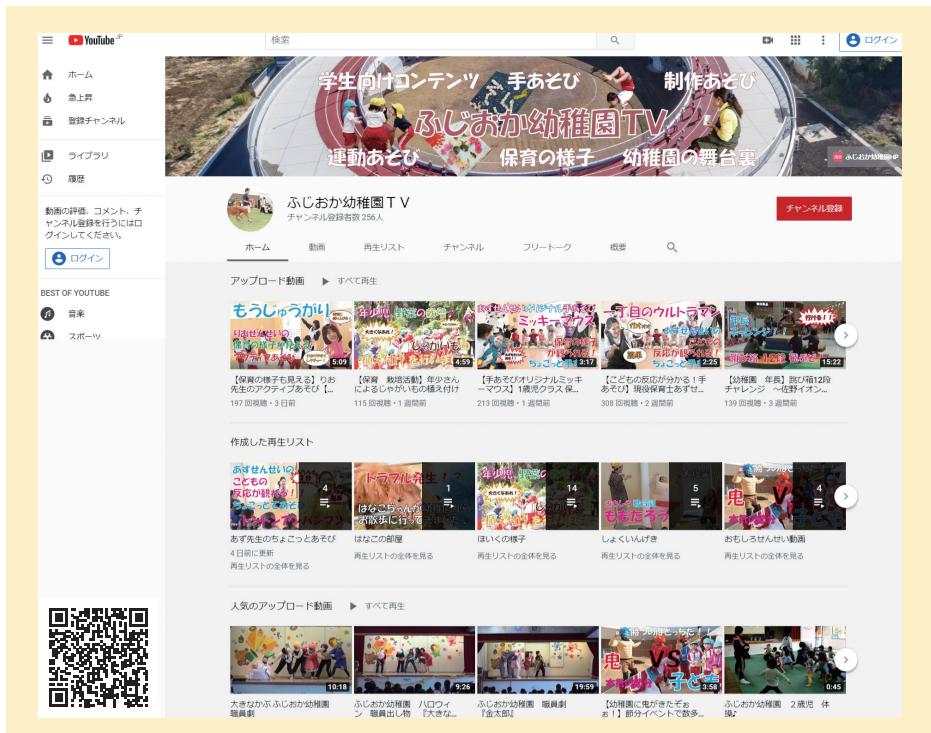


パステルIT新聞 Web

関連記事をチェック
<https://passtell.jp/>

- 10分で読める** 編集部のおすすめ記事紹介
- 1 園が動画チャンネル開設 親子支援として
 - 2 人材確保支援の調査研究とICTの可能性
 - 3 人々に付け込むデマ 一次情報の確認を
 - 4 STEAM教育の研究スタート
- パステルIT新聞の制作の裏側やバックナンバーを更新中！
<https://www.facebook.com/passtellnews/>



現役保育者が手あそびやアクティブあそび、保育の様子を動画で配信

現役保育者が手あそびやアクティブあそび、保育の様子を動画で配信

現役保育者が手あそびやアクティブあそび、保育の様子を動画で配信

現役保育者が手あそびやアクティブあそび、保育の様子を動画で配信

園づくり・人づくりを考えるIT専門紙 通巻 第134号

パステルIT新聞

購読申込・掲載依頼のお問い合わせは「パステルIT新聞事務局」まで

〒425-0074 静岡県焼津市柳新屋436-1 ☎ 054-626-8888 ☎ 054-626-3371

発送先数：11,945 施設（幼稚園37% 保育園40% 認定こども園21% その他2%）

創刊：2008年6月20日 発行：株式会社サンロフト

Webサイトは右記QRコードより



コロナショックと園の選択

動画チャンネル活用 家でできる遊びを発信

2020年4月7日、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて7都道府県に緊急事態宣言が発令されました。認定こども園ふじおか幼稚園（栃木県）はYouTubeにて家で楽しめる遊びを紹介する動画配信を開始しました。

2020年4月6日現在、認定こども園ふじおか幼稚園のある栃木県栃木市内の保育・幼児教育施設では、保護者の判断の元、自由登園といつた形で子どもを預かるケースが多く、同園でも仕事などの理由から保育

を必要とする保護者を中心にお意で受け入れを行ってきました。しかし、不要不急の外出自粛に伴い、ストレス発散の場を失った子どものケアは想像以上に大変なもの。

同園には、自宅で子どもと過ごしている保護者や未就園児の保護者から子育ての相談が寄せられるようになりました。

「何かお手伝いできることはないか」。日に日に想いが募る一方で、感染拡大予防のため、園の開放やイベントの実施はできませんでした。そうしたもどかしい状況に置かれていた同園に届いたのは、

同園の公式YouTubeチャンネル「ふじおか幼稚園TV」を見た保護者から届いた安堵のことばでした。「子どもと一緒に見て楽しい時間が過ごせました。救われました」「こんな時期ですが、子どもと楽しく拌見しました」

このことばに新たな取り組みはじめたのが、現役保育者による家庭でも遊べる手あそび動画の配信です。手あそびは、保育者がよく保

育活動前に子どもの興味を引くために行う遊びの1つ。かず遊びを紹介する「りおちゃんのアクティブラソーピング」の後は保育室へと場面が切り替わり、続く実際の保育シーンでは登園している子どもたちが出演しています。外出を控えている子どもたちにとって、画面動画を見た子どもの楽しそうな表情は保護者にとっても救いとなっています。

育活動前に子どもの興味を引くために行う遊びの1つ。かず遊びを紹介する「りおちゃんのアクティブラソーピング」など種類も豊富で子どもの発達や学びに良い影響を与えるとされ、道具や広い場所も必要としません。

「保育者にとつては普段何気なく行っている遊びでも、家庭で子どもと楽しい時間を過ごす手段として役立てるのではないか」

こうした想いから同園は、0～2歳児向けに手あそび動画を紹介する「あず先生の保育のちょこっとあそび」と

一緒に遊んでいる様子を配信する「一緒に遊んでる様子を配信」も実現。これまでの保育の原点であるその想いが、園内外の親子に広がっています。

まず保育者が立ち上がるチカラを



むことを大事にしていました。

その理念について、「職員1人ひとりがこの教育法を理解し、何をすべきかをよく突き詰め、知識やスキルだけではなく、子どもたちが自ら考

え行動することがで

きるような「立ち上がるチカラ」を育てたい」と市村弘貴園長は語ります。

今回の動画配信は、新型

コロナウイルスという逆境に対し、園や保護者、子どもたちの「立ち上がるチカラ」を育む1つの手段。同園の原点でもあるその想いが、園内外の親子に広がっています。

執筆を終えて
オンライン動画に映る友だちや先生の明るい笑顔に、他にはない安心感が得られます。大きな気付きをいたしました
(服部)

使い方 YouTubeチャンネル作成にはGoogleアカウントが必要です。作成方法は、YouTubeにログインし、右上に表示されるアカウントアイコンから「チャンネルを作成」をクリック、チャンネルの名称などの詳細情報を入力するだけ。アップロードした動画は、URLを共有した相手に限定して公開することも可能です。



人材確保

働き方改革とICTの可能性

一般社団法人全国認定こども園連絡協議会は、2017年から3ヵ年計画で、文部科学省の「幼稚園の人材確保支援事業」に取り組んできました。その研究結果を紹介します。

同団体は、毎年全国

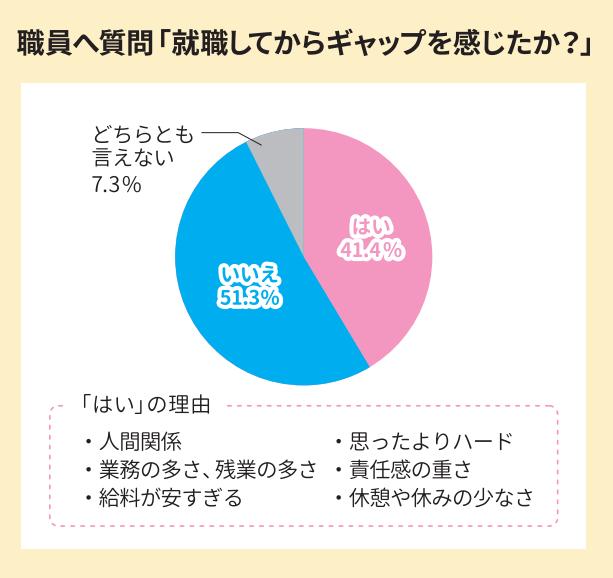
各地で実施している研修会にて各地域の園と情報交換する中で、人材不足や採用難である実態、人材確保における課題解決が急務であることを認識してきました。この危機感を持ち、2017年から3

年に渡り、文部科学省より「幼稚園の人材確保支援事業」の委託を受け、調査研究に取り組んきました。まず

1年目は、求職者側と雇用側の就職・採用活動についての実態を調査。次に2年目は、求職者が就職したくなるような働きやすい園づくりを目指して、園業企業の働き方改革の取り組みを収集。そして3年目は、業務負担軽減や保育者の育成につながるICTについて調査に取り組みました。

園就職後4割が「ギャップを感じる」

求職者側の実態には学生



給与や福利厚生であることと、一方で採用活動に満足している園は自園のWebサイトの内容を充実させている傾向にあることなどが明らかになりました。こうした結果から、園は保育者にとって働きやすい職場づくりに取り組み、自園の魅力を発信すること、一方、求職者は視野を広げ、自分に合った園選びを行えるような支援が必要でした。

働き方針に合った働き方改革が必要

あると導き出しました。

や職員、潜在保育者を対象に、雇用側の実態には園経営者を対象に、2718名にアンケート調査を実施。求職者の7割が就職活動で受けた面接数は1園であり、一般企業の就職活動に比べて圧倒的に少なく、職場研究を充分にせずに就職することで早期離職につながっている可能性や、職員の4割が就職前と後で園のギヤップを感じた経験を持つていること、潜在保育者が復職に重要視するのは

職員共通理解促進SNSが一役買う

（園の場合は理念や教育方針）

働き方改革の先進企業が取り組むポイント

討議会を定期開催し、企業理念に則った活動と働き方改革の活動のPDCAサイクルを回す

面談の実施やセミナー・カリキュラムを提供することでキャリア形成への意識醸成、組織全体の風土改革を行い、キャリアを積むとともに家庭との両立を支援

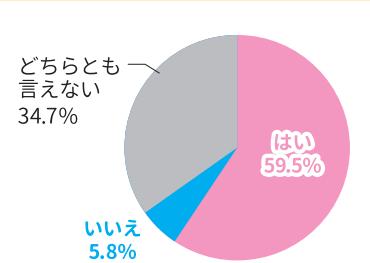
他の人のデータ共有化を進め、カバーし合える状態にすることで、無理せず働くことにつなげる

を減らすだけでなく、保育の質向上につながる職員の人材育成に課題を持つ園経営者が増えてきました。そこで、チームワークを活性化させたり、職員同士の信頼関係を構築したりする方法を検討。その時その場から離れづらい状況が多々ある園にて、時間や場所の制限を超えてコミュニケーションが取れるICTとして、園内SNSの活用効果を調べました。対面でのコミュニケーションを重視する中でも、約67%の職員が対面で話ができる状況下ではSNS上での

会話は有効であると、約73%の職員が園内SNS上で情報を共有することによって職員間の確認が楽になったと、約60%の職員が共通理解も増えたと回答が共通理解となりました。オンラインでのコミュニケーションが同時に、発信する言葉の使い方や受け取り方など、それが同時に、発信する言葉の使い方や受け取り方など、これがわかりました。そ

れは同時に、発信する言葉の使い方や受け取り方など、これがわかります。ITリテラシーを高めることがわざとあります。

「園内SNSの活用によって職員同士の共通理解が増えた」



執筆を終えて
本調査結果では、業務効率だけではなく保育者の専門性をより活かすICT活用の可能性が垣間見られました。（八木）

人育て、佐々木正美先生の教え

学園経営コンサルタント
石田敦志氏

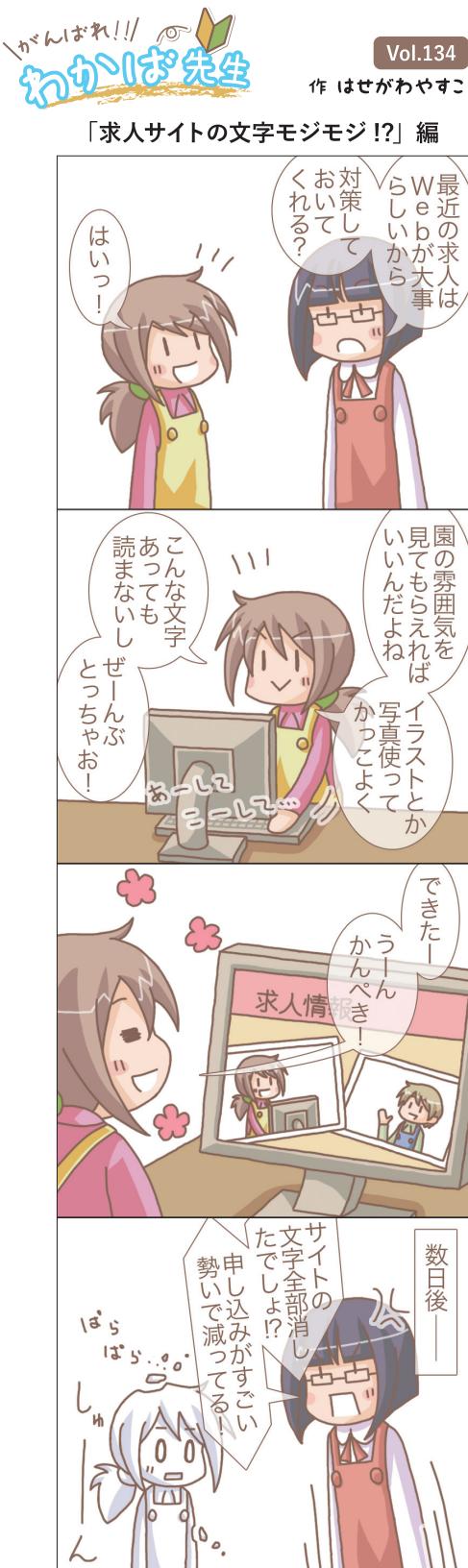


子育てで大切にすると良いことを佐々木正美先生に教えていただきたことがあります。それは、人生の中で何か困難にぶつかった時に、自分はもうダメだと思わず、「どうしていいのかわからないけれど、たぶん私は丈夫だろう」と考える「根拠のない自信」を育てることがあります。根拠のない自信を育てるために親がすると良いことは、良いところを見つけてほめる、

対話を時間をかけて実践し、育ててほしいなと思います。（マネジメントの原点は対話です）。失敗しても、できていない時があつても問題ありません。あつても問題ありません。あきらめず、またやればいいだけです。時間はたっぷりあります。

石田氏のメールマガジン申込（無料）
aishida44@edure.com

「みんなをHAPPYに」の信念のもと、自身の経験を活かし、幼稚園経営、教職員育成を支援。



ICTコンシェルジュから一言

スマホでの求人検索が増え、採用サイトの重要性も増しました。求職者がよく検索するキーワードを入れて検索上位に表示させることがポイント。求人に特化した検索エンジンもあるので活用してみましょう。

詳しい処分方法は
「i-s702公式
サイト」をご確認
ください。



トカード関連の情報や認証情報など、重要なデータや個人情報が多くあります。廃棄をする場合は、「データが復元できないよう「完全消去」を徹底し、情報が漏れることのないようにします。

小学校でのプログラミング教育必修化をはじめとして、STEAM教育(Science : 科学、Technology : 技術、Engineering : 工学、

そうした中、東京大学大学院情報学環 山内祐平研究室では、Makeblock社支援のもと、STEAM教育に関する新たな研究が始ま



Makeblock Japanの菊池氏(左)と東京大学の山内教授(右)

小中学校のカリキュラムとして取り入れるためのSIE
AM教育の研究がこの4月より始まりました。これには、
東京大学大学院情報学環 山内祐平研究室が取り組みます。

次世代教育 STEAM教育の研究スタート

教育機関カリキュラムとの統合について検討

りました。
それは、STEAM教育の概念や実践を整理し、日

それは、STEAM教育の概念や実践を整理し、日本的小中学校におけるカリキュラム的な位置付けを見出すもの。その上で、教材として効果的な教材を開発していく。研究支援元のMakeblock社は、各国にてSTEAM教育につながる製品を提供している企業。研究で明らかにする、教育カリキュラムに適合するSTEAM教育の製品開発が期待されます。小学校におけるSTEAM教育の実践は、幼児教育の現場でも注目していきたいものです。



Makeblock社 STEAM 教育製品提供

四



子どもたちの大好きなホットケーキができるまでがわかる食べ物絵本。ページいっぱいに描かれたイラストや綴られた擬音で、食欲もわいてきそうです。

『ふかふか ぼん！』
作・絵 / 若菜ひとし・きよこ
発行 / ひさかたチャイルド
定価 / 1,000 円 (税別)

CANVAS NEWS!

遊びと学びの秘密基地

オススメ！デジタルえほん 紹介ムービー公開中！

国際デジタルえほんフェア実行委員長、石戸奈々子とフリー・アナウンサーの内田恭子さんによる、オススメしたいデジタルえほんの紹介ムービーが公開中です！物語を楽しむだけでなく、音楽を作ったり、生き物について学んだり。デジタルえほんの魅力がつまったムービーでレクションオンライン（<http://wsc>）をご覧ください！



たのしい！みたことない！世界が広がる！

ヨリタケモトアツシ

デジタルえほんアワード

Digitized by srujanika@gmail.com

困ったときの 情報セキュリティ

Q 今月のお悩み

